

STOP! THE YANBA DAM



今は言い続けることが大事 ハッ場ダムは無駄！危ない！

現地でも首都圏でも、ほとんどの人が「無駄で危険なダム」であるを知っているのに、ハッ場ダム建設が止まりません。工事が一部の人の利益になっているのです。

政権交代では止まりませんでした、話題になってハッ場が「やんば」と周知。一都五県の住民訴訟裁判でも止まりませんでした、裁判の過程で、ハッ場ダムがいかに無駄で、危険なダムであるかが明らかになりました。

人口減少と節水技術向上と産業構造の変化による水余り、統計的に治水効果はなし、貴重な自然の破壊、観光資源の衰退、地域コミュニティの崩壊、税金の無駄遣い。これらは一つも解決していません。

工事は進むものの、地盤の悪さ等でいつ完成するかも分かりません。工事費は嵩み、さらなる税金の投入もあるでしょう。自分の財布から払うという感覚がないので、千葉県民の反応は鈍いですが、要らない水利権を買わされて、その上、千葉県の洪水は防げません。ダムにお金を注ぐので、堤防強化の費用も少なく危ないのです。

現地や千葉県に、ハッ場ダム建設による悪影響が出ないように、問題を知っている私たちが声を上げ続けていく他ありません。皆さんのアイデアを寄せてください。

(武笠紀子)

CONTENTS

- ◆ 今は言い続けることが大事
ハッ場ダムは無駄！危ない！
……武笠紀子
- ◆ ハッ場 現地は今 ……渡辺洋子
- ◆ 「ハッ場あしたの会」総会と記念講演に参加して ……中村春子
- ◆ 議会に行こう！ ……村越啓雄
- ◆ 人口減少・水余りなのにダム推進
どうなっているの?! 千葉県の水道
……入江晶子
- ◆ 編集後記 ……服部かをる
編集：猪俣悦子

vol. 26



ハッ場ダムをストップさせる千葉の会

代 表：中村春子・村越啓雄
住 所：〒285-0825 千葉県佐倉市江原台2-5-29
TEL : 043-486-1363
ウェブ：<http://yanbachiba.blog102.fc2.com/>
2017年3月17日発行

お知らせ

ハッ場ダムをストップさせる千葉の会第13回総会
3月30日(木) 13:30～
市民ネットワーク千葉県4階会議室
(TEL 043-201-1051)

「ドローン」で撮影した
現地の様子を上映します。

●会費納入のお願い (一口 1000円/年)
会費振込先：00120-5-426489

ハツ場 現地は、今

川原湯温泉



解体される川原湯神社

ハツ場ダムの水没予定地、川原湯地区と川原畑地区では、残された最後の住民が今年3月末までに立ち退くことになっています。昨年4月に事業認定が告示され、このまま水没予定地に住み続けると、強制収用の対象になってしまうからです。

かつて温泉街があった坂道は、老舗旅館の山木館があったあたりに白い柵が設けられ、それより下は立ち入り禁止です。道の脇では、山の中腹に道路をつくるため、巨木が次々と伐採されています。

しかし、「元の湯」とも呼ばれる旧源泉は今も岩の割れ目から湧き出し、湯煙を上げながら、崖をつたって吾妻川に流れ落ちていきます。

水没住民が移転した打越代替地には、ダム事業で掘り当てた新源泉が引き湯されています。約670メートルの管とポンプを使って、標高差約30メートルの代替地へポンプアップし、さらに広大な代替地を循環方式で各旅館に配湯するシステムです。従来の自然流下ではお金がかかりませんでした。ダム事業終了後、国交省が手を引いたのち、肥大化した維持管理費は地元

の負担になります。川原湯住民の信仰を集めてきた川原湯神社は、旧源泉と新源泉に挟まれた斜面にあります。この神社もいずれは解体され、4月8日の春祭りは代替地に建設中の新しい神社で執り行われます。新神社の建設地は、過去、土石流がしばしば襲ったところ。周りを砂防ダムで取り囲まれた新しい社殿は、ダム事業で追い詰められた川原湯の現状を象徴しているようです。

本体工事



名勝・吾妻渓谷では、厳寒の今も24時間体制で工事が進められています。夜間、巨大なライトで照らし出される渓谷では、動植物が甚大な影響を受けているはずですが、最近の新聞各紙はダムの負の側面を殆ど取り上げません。

国交省は本体工事見学ツアーのPRを盛んに発信し、今年4月からは小中学生の社会科見学向けのプログラムを開始するとのこと。

本体工事の第一段階である基礎岩盤の掘削工事は当初の予定より遅れて昨年9月に終了しました。10月からダム堤体のコンクリート打設が始まり、作業員は約300人、河床から約8メートルの高さを打設中とのこと。（2/2建設通信新聞）。

国交省は本体工事は順調に進んでいるとして、2019年10月より試験湛水を開始し、2020年3月末にダム完成を予定していますが、地すべり対策や試験湛水等、工程計画も事業費も甘く見積もられており、今後さらなる見直しは必至です。

（ハツ場あしたの会 渡辺洋子）

「ハツ場あしたの会」総会と記念講演に参加して

「地方が変わらない限り、変革はありえない」

講師 相川 俊英氏（ジャーナリスト）

総会では、まずドローンによって撮影された現地の状況が上映され、現地の山肌が深く削られ、大型の機械がうごめく様子がリアルに映された。もう市民の反対運動などでは、手の施しようがないのかと悔しい思いが募る。嶋津さんの報告では、昨年秋の720億円増額の詳しい内容が知らされた。

①地質条件が明確になったことによる変更	202億円
②工事単価の変化による変更	233億円
③地すべり対策	141億円
④その他	144億円
合計	720億円

1986年の事業費2110億円から始まり、5回目の変更で今は5320億円にもなってしまった。まだまだ地すべり対策等のための追加費用がある。いったいいくらになるのか、暗澹たる気持ちになる。

相川俊英さんの記念公演は、地方創生の主役は国でも自治体でもなく、ひとりひとりの住民であることをリアルに実感できた面白い内容だった。

南信州の山奥に忽然と現れた「奇跡の村」と言われた「下條村」は「消滅可能性自治体」と言われることがオーバーではない、本当に消滅しかねない村だったそう



だ。行政は仕事量と関係なく肥大化し続けるものと言われるが、たとえ小さな役場でも例外ではないと見抜いた伊藤喜平村長は、まず職員の意識改革に命がけで臨んだ。この小さな役場で職員に「少数精鋭とは少数になれば精鋭になれるのだ」と説いた。成果は着実に上がり「下條村の職員は、とにかく仕事が早い。効率よくやって、一人で二人分ぐらい働いている感じ」と外から驚嘆の目で見られていたという。近頃聞かない話だと興味を持ちました。

（中村春子）

議会に行こう！

東京都議会がにぎやかです。築地市場の移転問題で100条委員会の設置が可決されるなど、話題をにぎわしています。

国会では、大阪府豊中市の国有地が評価額を大幅に下回る価格で学校法人に売却され、安倍首相夫人が小学校の名誉校長に納まっている（2月に辞任）ことを追求された首相は、不正があれば議員を辞める！と国会答弁し安倍政治の根幹を揺るがす可能性が取りざたされています。

千葉県議会は3月1日の最終日まで厳しい論戦が闘われ、県議の定数1減と選挙区の区割りを改正する条例が激論??の末、可決された様子はインターネットやTV中継で見ることができました。各地の議会も前後して開催されています。

新聞や、TV中継でも情報を知ることができるようになりましたが、やはり、ナマの迫力にはかないません。また、メディアからの情報は、受取るのみで、私たちの意見・感情が相手に伝わることはありません。

議会に傍聴に出向くことにより、私たちの意思が、議員や行政に伝えられます。議員に面会しなくとも、行政に意見を伝えなくとも、傍聴者がいることで意思は伝わります。あなたは、最近、議会に行きましたか？

女性議員を増やす新たな法案

千葉県議会は、女性議員の比率が9.4%です。千葉市議会は18%です。皆さんの住む市は、町は、女性議員の比率はどうか？

国会議員は衆議院は9.3%、参議院は20.7%です。

世界での位置づけを見ると、193カ国中163位とのこと。比率が高い国を見ると、6位のスウェーデンが43.6%と、男女比がほぼ半数の国も多くあります。

政治分野の男女の機会均等を是正するため、選挙の候補者数の男女を出来る限り均等にしよう、国会や地方議会も含め、政党に努力を求める法案が今国会で成立する見通しになりました。「政治分野における男女共同参画推進法案」です。

ハッ場ダムはいらぬ、という私たちの意見は、県議会で圧倒的多数を占める自民党系議員によって無視されました。

自民、公明は女性ゼロ

民主主義は多数意見を尊重することが基本です。しかし、議員選出の一票の格差が改正されても2.44倍の現状の中では、都市部の県民の声は県南部などの保守系議員の自民党一党支配により、県政の構造変革は至難の業と思われてきました。

ところが、男女共同参画推進法が施行され、千葉県女性県議の9.4%が当面目標の30%になるということは、20人の女性議員が誕生すること、これはまた、新人議員の誕生でもあります。

選挙の候補者数の男女をできる限り均等にするのは、政党すなわち党派ごとに、努力義務を課されて各党派の取り組みが問われます。

現在の千葉県議会は、最大党派の自民党は53人中、女性はゼロ。公明党も8人中、女性ゼロ。民進党は17人中、女性は3人で18%。共産党は5人のうち女性が2人で、40%。市民ネット・社民・無所属は4人中3人で75%、などです。

これが自民党に16人の女性議員候補、民進党に2人、公明党に2人の合計20人の新人議員が誕生する可能性が出てきたことです。自民党、公明党を加えても47議席以下となれば、千葉県政は改革の嵐に見舞われるでしょう。ハッ場ダムの追加工事は大きな争点となるに違いありません。

この新法の審議過程と、県政の動きを注目しよう。議会に行こう!! (村越啓雄)



人口減少・水余りなのにダム推進 ～どうなっているの?! 千葉県の水道

千葉県の「人口減少・水余り」の実情を直視すれば、ハッ場ダムを含む新たな新規水源開発はまったく必要ありません。ところが、千葉県をはじめ県内の自治体は客観的な「事実」に目を背け、相変わらず無駄なダム推進のレールをひた走っています。昨秋開かれた27年度千葉県議会決算委員会の質疑を通じて明らかになった「真実」をお伝えします。

不都合な真実?

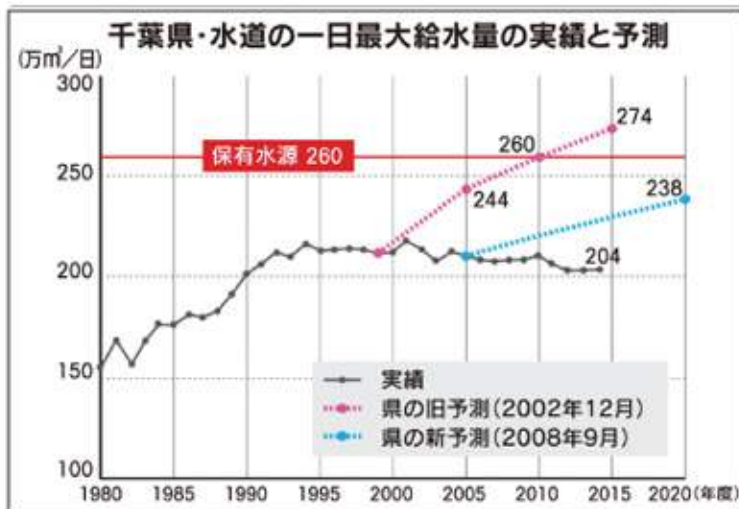
県内の水道事業体における年間給水量は約6億3400万 m^3 、一日最大給水量は約205万 m^3 。これに対して保有水源は毎秒31,227 m^3 あり、一日最大約270万 m^3 まで取水することができます。ですから、現時点でも許可水量の8割しか使っておらず、水は十分足りています。

にもかかわらず、ハッ場ダムで毎秒2.82 m^3 、思川開発で毎秒0.313 m^3 、霞ヶ浦導水で毎秒1.486 m^3 の合計毎秒4.619 m^3 、日量換算で39万9082 m^3 の新たな水源開発を推進しています。その下敷きとなっているのは、千葉県の長期水需給計画であり、2020年時点での一日最大給水量の目標が238万 m^3 は、明らかに過大です。

(グラフ参照)

未利用水に533億円

しかも、これらにかかわる県内自治体の負担金総額は27年度までに約400億円、28年度以降が約151億円。起債利息を含めると、1000億円を超えるのは間違いありません。さらに、県内の6事業体において既に水利権を取得したものの、二十数年間も未だに使われていない「未利用水利権」は毎秒1.352 m^3 。これに約533億円以上の税金を投入したのは無駄遣いだと追及しました。しかし、県当局は「将来の安定給水のために必要」と強弁。水余りを決して認めようとしません。



出典：日本水道協会「水道統計」+千葉県の資料) 上下水道+簡易水道を示す
*ハッ場ダムは旧予測に基づいて進められている。

遅れる耐震化

不幸なのは、県民です。千葉県水道局だけを見ても、ハッ場ダム完成予定の2019年度時点で2万人程度人口が増える予測にもかかわらず、41万人分の水量を新たに確保しようとしています。あまりにも過大です。

その一方、水道管の耐震化は27年度末現在、基幹管路は53%、全体で18.4%に留まっており、進捗が急がれます。限られた財源は、将来のインフラ整備に優先的に振り向けるべきです。今後も無駄なダム推進を改めるよう県民の声を届け、ねばり強く働きかけていきます。(入江晶子)

編集後記

2004年9月に1337人で住民監査請求をし、2005年2月に、監査請求人宛にニュースNo.1を発行。部数は当初1300でしたが、その後700~800で推移。2015年9月の結審後は、会員を対象に150部ほど発行しています。

裁判は終わっても、ハッ場ダムの問題は解決していません。今後もウォッチングを続けていきましょう。ダムや水の問題などについての投稿も大歓迎です。

(服部かをる)